

## 弘中富士彦 経歴書・自己紹介

- 1952年7月2日 旧吉敷郡秋穂町で出生、以後 10年間秋穂東大海地区で暮らす。(大海小)
- 1962年4月～1971年9月末まで 周南市 (旧：徳山市 岐山小・岐陽中) 旧 毛利町三丁目在住
- 1967年夏にJA4FRJ アマチュア無線局開局し現在に至る(中学2年生で国家試験合格3年生で開局)
- 1968年4月入学～1971年3月卒業 山口県桜ヶ丘高等学校 電気計測科 (現：電気科に統合)
- 高2在学中 旧電気工事士免許取得 1969年10月 (現：第二種電気工事士)
- 山口県 豊北技能専門学校 無線通信科 1971年4月入学～1971年8月中退
- 1971年9月29日 東京都大田区萩中に転居 (日本航空入社のため)
- 1971年10月1日 日本航空(株)入社 整備本部整備訓練所配属 (山尾庸三氏の孫 信一氏が上司)
- 1972年3月末 神奈川県 逗子市 池子に転居 (JALヨット部に入り葉山でヨットを習得)
- 1972年4月上旬 羽田空港 日本航空 ライン整備工場配属 (空港での運航整備)
- 1977年6月上旬 羽田空港 日本航空 装備工場 航法電子課配備 (装備品Shopと云う)
- (慣性航法装置装備品整備 Delco Carousel IV-A INS) (アポロ宇宙船の慣性誘導装置との事)
- 1978年4月上旬 成田空港 日本航空 装備工場 航法電子課異動 (成田展開の為)
- 1984年6月～2004年6月迄 日展・光風会役員 篠崎輝夫画伯に師事 洋画を学 (小生 現 洋画家)
- (慣性航法装置装備品整備) (国立公害研と共同研究) URL : [1985\\_09\\_0497.pdf](http://1985_09_0497.pdf) ([metsoc.jp](http://metsoc.jp))
- (上記記 URL の論文 50 頁下部「謝辞」に小生名の記載有り)
- 1989年5月～8月 UK GATWICKの REDIFFUSION SIMULATION社にシミュレーター訓練、社費留学 747-400 フライトシュミレーター JAL自主管理・整備プロジェクト発足のため
- 1990年1月1日 成田空港 装備工場内 日航アビオニクス出向 (初代シミュレーター課長)
- 747-700 MTS、747SR CPTの整備用シミュレーターのJAL自社整備・運用を開始
- 現 JAL CAE FLIGHT TRAINING Co., Ltd. [JAL CAE FLIGHT TRAINING Co., Ltd. \(jalcae.co.jp\)](http://jalcae.co.jp)
- 1993年3月末 成田空港 日本航空 装備工場 電子航法課復帰 工場内デジタル化の為の教官兼務 (慣性航法装置装備品整備 Delco Carousel IV-A INS)
- 1999年8月末 成田空港 日本航空 装備工場 計器課配備 工場内デジタル化の為の教官兼務 (エアデーター コンピューター、高度計、速度計等計器類やコックピット関連計器類の整備)
- 2007年8月上旬 日本航空 品質保証部計量管理グループ配備 (計測機器類の計量精度管理)
- 2009年10月上旬 日本航空 整備本部付 (株)JALエンジニアリング出向 (業務 同上)
- 2010年5月末 日本航空退職 同年8月末に実家 山口市秋穂東にUターン
- 2014年10月上旬 山口県登録電気業 起業 山口県知事登録第26125号 (現 第2019118号)

2017年1月上旬 山口市秋穂で、ESD 静電気対策関連の事業を開始

(2016年11月16日 一般財団法人日本電子部品信頼性センター RCJ ESDコーディネータ資格を取得 JIS・ISO規格対応) 1978(昭和42)年頃から、日本航空の静電気対策担当として、規約・規格・教育訓練の制定運用等を担当してきた、退職後は、RCJ ESD コーディネーターの資格を習得し運用中

2021年時点で、RCJ ESD コーディネーターの資格保有者は、山口県に4名しかいませんので、県内のISO9000やJISQ9100等の静電気対策や計量管理等の国際認証の技術支援・教育訓練を致します。

[ESDコーディネータ \(ESDC\) とは | 日本電子部品信頼性センター \(rcj.or.jp\)](#)

ESD管理は、エレクトロニクス産業のあらゆる分野以外、大学や医療機関等での研究や診察等静電気やメイズ対策が求められています。ESD対策の取られていない、ベンチで研究を進めた場合ピンセットやスクライバーで細胞等に触れた瞬間に、静電破壊が起こり細胞が死んでしまいます。

その他保有資格 危険部乙四類資格・有機溶剤作業主任者・第一級小型船舶操縦士

公益財団法人やまぐち産業振興財団

1. やまぐち産業振興財団 のやまぐち高度技術者・研究者OB等人材バンクに登録中「弘中富士彦」

<https://ymg-obbank.jp/>

[人材の詳細 | OB人材を探す | OB等人材バンク \(ymg-obbank.jp\)](#)

2. 山口県航空宇宙クラスター 公益財団法人やまぐち産業振興財団事務局及びクラスターメンバー企業の方々と JAL 整備工場・フライトシュミレーター見学会を開催。2017/5/25

3. 無線の国家試験を広島で受験「第一級陸上特殊無線技士」(2021年10月21日受験・合格)

TV・FM放送局・衛星通信親子局・4G5G局の(500W以下)の無線設備の操作監督が出来る資格。

今人気が出てきている、ドローン無線局業務用の運用操作も出来るプロ用の資格です。

山口UKコンピュータープログラミング協会設立に先立ち、小生高卒の為、四年制の電子通信系

指定大学で卒業時取得出来る国家資格を69歳で受験。(合格発表は11月8日、17日免許到着済)

<https://www.tele.soumu.go.jp/resource/j/operator/002.pdf> ← 総務省 指定校

総務省指定校 山口県は 山口東京理科大学 工学部電気工学科 1校・1学部のみ。

(広島県は、5大学が認定校で広島大学も含まれています。)

山口県内の、理系の電子・通信・無線・航空・宇宙関連の、ハイテク大学の強化が望まれる。

理由、この資格1級は大卒レベルで講習会では取れません。(受講するには学歴が必要なため。)

最近大規模事業所やコンビナートで、導入されている「ローカル5G」開局に必携の資格である。

4. 2021年11月1日 山口UKコンピュータープログラミング協会創立し会長に就任した。

5. 2022年度から山口大学「理学部」・「工学部」・「山大本部」・「山口県」・「山口県教育委員会」等から後援を頂き、山口UKコンピュータープログラミング協会セミナー実施。

現在に至る。(2023/03/17 現在)